



社会との関わり

「自然・地域と共生する」という経営理念のもと、ステークホルダー（利害関係者）と積極的な関わりを持ち、継続的な地域貢献活動に取り組むとともに、誰もが参加しやすい活動、交流の場を通じて、社員の自主的・自発的なボランティア活動、社会参加を促進しています。

活動方針

当社の社会貢献に関する活動方針は、まず企業としての取組みの中で「青少年育成」「障がい者自立支援」「環境保全」の3つの分野に重点を置いた活動を行っています。またもう一つの取組みとして、社員が行うさまざまな社会貢献活動に対する支援・啓蒙にも注力しています。

■社会貢献に関する活動方針

東海理化が行う企業としての社会貢献活動の企画・推進

重点分野

青少年育成

未来社会を担う子どもたちの育成に貢献

障がい者自立支援

バリアフリー社会をめざして活動

環境保全

未来のために地球環境とのより良い関係を考えて行動

社員が行う社会参加活動・ボランティア活動などの支援・啓蒙

愛知駅伝への協賛・運営協力

愛知県の全市町村が参加する「愛知県市町村対抗駅伝競走大会（愛知駅伝）」に、当社は第1回より10年連続で協賛しています。また大会当日、社員ボランティアが走路補助員などスタッフとして運営にも協力しています。



駅伝のスタート時

「チャリティ・ヘルシーメニュー」の提供

社員食堂で、肥満や生活習慣病を防ぐように考えられた指定のメニューを喫食すると、価格に寄付金10円が含まれており「公益財団法人アジア保健研修所（AH1）」が行うフィリピンの子どもの食生活改善事業に役立てられます。自身の健康増進と国際貢献が同時にできる当社独自の取組みです。



チャリティ・ヘルシーメニューの提供

QCサークル愛知地区幹事会社

QCサークル活動を通じて県内の企業の皆さまへ貢献することを目標に、発表大会・研修会を開催しています。当社は1979年より幹事会社として企画・運営に協力しています。

トヨタグループ協働・東日本大震災復興支援ボランティアツアー

2011年5月から始まった、トヨタグループ各社協働のボランティアツアーに東海理化も毎年協力、これまでに社員が延べ21名参加しました。

また当社は、被災地で活動する社員に対し「ボランティア休暇制度」を設け、交通費などを支援しています。



復興支援活動

地域社会に貢献した活動

▶新入社員の社会貢献活動体験教育「ふれあい活動」の実施

2005年より毎年、大卒新入社員を対象に障がい者施設の方々と一緒に水族館を見学する小旅行を行っています。施設の方々には外出とコミュニケーションの機会となり大変喜ばれています。社員にはバス車内での自己紹介から始まるふれあいにより、社会人として障がいを正しく理解し、サポートのあり方を学ぶ貴重な体験となります。



名古屋港水族館を見学

▶福祉施設の生産商品を会社イベント手土産に採用

会社周辺の住民の方々を行う「地域懇談会」や、課長職の組織「課長会」の講演会にて、参加者への手土産として近隣の障がい者施設が生産するお菓子詰め合わせなどの商品を採用。施設の紹介にもなり、売り上げに寄与しています。



手土産のお菓子詰め合わせ

▶労働組合協働寄贈活動

労働組合と協働で資金を出し合い、大口・豊田・音羽各工場ごとに福祉施設を選び、毎年3つの施設に設備・家電品などを寄贈しています。各施設には必ず直接ヒアリングを行い、ニーズマッチングを確かめています。



障がい者施設への寄贈

▶バルーンアート教室

「バルーンアート」で活動をするNPO法人の講習会や、得意な社員の協力で定期教室を開きました。習った技術を地域のイベントで披露した社員から「子どもに喜んでもらえてうれしい」という声もあり、貢献活動に参加するきっかけとなっています。



バルーンアート教室

▶「エコキャップ」収集活動

自販機業者の協力を得てペットボトル飲料キャップを回収し、リサイクル業者に売却した利益を「世界の子どもにワクチンを・日本委員会」に寄付しています。キャップのシール剥がしの社員ボランティアも活躍しました。



集められたエコキャップ